

『惣菜』 作：ポチ子

『惣菜』 作：ポチ子

私が選ばなかった選択肢たちは、

どこにいっただろう。

可愛かったけど、高くて買えなかったワンピース。

悩みに悩んで唐揚げに負けた、惣菜の餃子。

今も元気にやってるのかな。

それとも、流行りが終わって捨てられちゃったかな。

賞味期限が切れて、廃棄処分になったかも。

ああ、せめて誰かの家のタンスの中に、

せめて誰かの胃袋の中に、

行けていたらいいのだけれど。

それが元気って言えるのかと問われると、

自信はないけど。

ただ選ばれなかった彼らが、

少しでも良い様にいてくれたら、

なんて思うんだ。

私は選んであげられなかったから、

選んでくれる誰かに、

見つけてもらってたらいいな。